

2017年3月12日 主日礼拝

司 会 ①吉原兄 ②佐々木伸兄 ③高木美兄

奏 楽

祈 禱 ①三浦兄 ②石塚兄

賛 美 聖歌475番「主イエスのみそばに」
(476番1・4・It is well with my soul)

ヤバツの祈り

聖 書 ①② ヨハネによる福音書13章12～15、34～35節 (P163)
③ 詩篇23篇1～6節 (P766)

音 楽 3. 11メモリアル Special(サインダンス&CBD)

証 詞 ①② 白鳥直美姉(ハンナ会)

メッセージ ①② 「みこころを受け容れる・シリーズ2」 倉知契副牧師
③ 「私の魂は復活します」 大川従道牧師

賛 美 「ふるさと(替え歌・天のふるさと)」(東日本被災地献金)

頌 栄 「それ神はその独り子を」(700番) アーメン

祝 禱

*ICA卒園式

「たとわわたしは死の陰の谷を歩むとも、わざわいを恐れませぬ。
あなたがわたしと共におられるからです。」(詩篇二十三の四)

【大和ニュース】

- ・ 本日、入門講座Ⅱ、モーセ会、ドルカス会、ハンナ会、J. Plus(中・高・学・青)SS主任会、YYタイム(12:30・森) ☆ICA卒園式・おめでとございます！！
- ・ 東京カルパリーは3月26日・ハイアットホテル、ゲストは久保田早紀(久米小百合)さん。
- ・ 今週も祈禱会を大切に！①水曜夜の説教は佐々木師 ②木曜朝は久保田師
③金曜夜9時からは石橋補教師
- ・ 土曜スクールは子どもの伝道集会です。土曜朝9時半。森チャペルにて。
- * 中高生のフットサル *会堂掃除(12:00)募集中 *聖歌隊練習(13:15)
- ☆来週の第3礼拝には、ムーイ先生が来られます。すばらしいやしの御業がなされるように期待して祈り待ち望みましょう。(通訳はオカムラ宣教師)
- *「いやしの研究会」は、来週の月曜(祝日)10時～16時。(通訳は石橋補教師)

石の枕

今日のコラムは、文字通り荒野で「石の枕」体験をされた佐藤彰先生の文章です。「帰れない故郷を望みながら・流浪の教会『翼の教会』」(ことば社)

思いもかけない流浪の旅路でした。2年前の3月11日に襲った巨大地震と大津波、続く原発事故により私たちは4つのチャペルを失い、教会員の多くは自宅を追われ、故郷は閉鎖となりました。

この2年間、いつも明日が見えず、目の前を生きることに精一杯でした。あの日故郷を追われて、避難所を転々とした教会員のうち約60名は、会津の教会に身を寄せ、3日後にはまさかの吹雪の峠越えをし、山形県米沢の教会に移動、約2週間そこでお世話になりました。文字通り、嵐の中の逃避行でした。

他方、その他の教会員の多くは全国各地に散らされて、厳しい避難生活を余儀なくされ、福島県浜通りの北と南に残された教会員も、母教会を失ってさみしい日々を送ることになりました。

その後、故郷への帰還が難しいと悟った私たちは、はるばる東京まで旅を続け、以後約1年に渡り、奥多摩福音の家キャンプ場のご厚意に甘える形で、共同生活を送ることとなりました。その間も、実に多くの方々が国内外から私たちのもとに駆けつけ、寄り添い、支援してくださいました。私たちは、何と不思議な旅をしてきたのでしょうか。神は何とあわれみ深いのでしょうか。

まぎれもなくこの教会は、東日本大震災が生んだ、復興記念教会ならぬ、復活・復興祈念教会です。後略。2013年初夏記す。

あの日を思い出しては心が痛み、身はふるえる。あれから6年、私たちも心から祈り、支援し、また観察して来た。佐藤牧師ご夫妻、副牧師ご夫妻をはじめ働き人、信徒の皆様の必死に教会を支える姿を見て涙し感動して来た。

私たちの群は、福島教会の10倍の大きさ。2000人のメンバー。もし直下型の大地震に出会ったら、どう対処できるか考え続けて来た。かの年から礼拝プログラムに「ヤベツの祈り」を入れて祈るようになった。教会も避難所が必要かとも考えている。上記の「翼の教会」が教えてくれることは、歴史から学ぶ大切なことばかりである。

しかしながら、何が起っても「永遠の避難所」なる救い主イエス様とご一緒であることが、私たちの最大の希望である。「あなたの将来には、希望がある、と主は言われる」(エレミヤ書31の17)。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:申命記17章~32章 Bコース:マルコ14章~ルカ1章